



ソレイユニュースレター発行日：令和8年10月15日 発行部数：1000部 発行人：福原 信広 編集製作：情報委員会
ソレイユさがみ：〒252-0143 神奈川県相模原市緑区橋本6-2-1（イオン橋本店6階 シティ・プラザはしもと内）

ソレイユさがみ って どんなんところ？

『コミュニティゾーン』は打合せや読書、お友達との会話が楽しめる場所です。飲食もできます。

『プレイランド』は就学前のお子さんと保護者が遊べます。

『情報コーナー』には男女共同参画やLGBTQに関係した本が7,000冊以上（絵本は1400冊以上）揃っています。

静かに勉強したい方は『スタディーゾーン』をご利用ください。

広々とした『であいの広場』では毎月第2火曜日と第4土曜日の2回「ソレイユマルシェ」を開催し、手作り品を販売。奇数月の第1土曜日には「リユースマーケット」、偶数月の第4土曜日には「子ども服と絵本のリサイクルバザー」を開催しています。

ソレイユさがみ(相模原市立男女共同参画推進センター)は、一人ひとりが自分らしく生きることのできる豊かで活力のある男女共同参画社会の実現を図るための活動拠点として、新たなパートナーシップの創造を目指しております。



セミナールーム1



セミナールーム2



セミナールーム3



セミナールーム4



セミナールーム5



セミナールーム6

〈基本使用料〉

施設名	定員	午前	午後	夜間	全日
		9時～12時	13時～17時	18時～22時	9時～22時
セミナールーム1	180人	3,800円	5,300円	5,800円	14,900円
セミナールーム2	75人	1,800円	2,500円	2,700円	7,000円
セミナールーム3	24人	800円	1,000円	1,100円	2,900円
セミナールーム4	24人	800円	1,000円	1,100円	2,900円
セミナールーム5 (食工房)	30人	2,800円	3,800円	4,200円	10,800円
セミナールーム6 (生活工房)	30人	1,000円	1,400円	1,500円	3,900円

- ・セミナールーム1～4は講習やセミナー、運動にもご利用できます。
- ・セミナールーム5(食工房)は調理器具や食器、子どもの包丁も揃っています。
- ・セミナールーム6(生活工房)は工作など趣味の作業に適しています。

・専用利用のお申し込みは、ソレイユさがみ窓口へお越しいただくか、電話でお申し込み下さい。電話でのお申し込みは仮予約ですので、7日以内にご来館のうえ、お支払いください。さがみはらネットワークシステムからもお申し込みいただけます。なお、**お支払いの受付時間は、午前9時から午後5時までです。**

〈加算使用料〉以下の場合、基本使用料に表中の割合を加算します。

ア 入場料等を徴収するとき	50%～100%
イ 物品の販売、広告、寄附募集行為等を行うとき	100%
ウ 上記イを行う場合で、入場料等を徴収するとき	200%

・個人利用の申し込み(セミナールーム5・6)は、利用日当日に窓口でお申込みのうえ、使用料をお支払いください。

なお、**個人利用日でも1か月前までに申請すれば専用利用が可能です。**

〈個人利用(曜日・時間帯)〉

		セは、セミナールーム						
区分	月	火	水	木	金	土	日	
午前			セ6		セ6			
午後			セ6		セ6			
夜間	セ5	セ5	セ5・セ6	セ5	セ5・セ6	セ5	セ5	

□個人利用料金の改定について

令和9年1月1日から、セミナールーム5・6の利用料金が改訂されます。

現行：200円 ⇒ **改定後：230円(午前・午後・夜間の各区分)**

□ セミナールームやハンドメイド作家に関する詳細は、

ソレイユさがみまでお問合せください。

TEL：042-775-1775

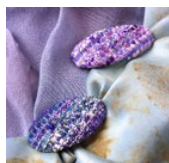
ソレイユマルシェに出店 ハンドメイド作家のご紹介

※ ソレイユマルシェハンドメイド作家による手作り品の販売を月2回開催し、作家の起業と地域活動の応援をしています。

※ ソレイユマルシェに6回以上出店している作家がワークショップの講師となり、活躍しています。

中島 壽子さん(染織家)

裂織りのアクセサリやポシェット、藍染や草木染のストールなどを作っています。植物の形をそのまま染めるエコプリントも始めました。もの作りは、何かを探し出す旅に似ています。日々の暮らしの中で、豊かな気持ちになれるようなものを手渡ししていけたらと思っています。



太田 ゆかりさん

(日本食品サンプルアート協会認定インストラクター)



思わず食べたくなってしまいそうな、本物そっくりの食品サンプルを作っています。ソレイユマルシェワークショップでは、季節に合わせた食品サンプルを楽しく作成しています。パフェを作るときも、どこにフルーツをのせるかで全く違った作品が出来上がります。それがワークショップの醍醐味ですね。

編集後記

今年は「酷暑日」という新しい気象用語が4月に気象庁から発表され、暑い夏がやってくると覚悟を決めていたが、東日本では西日本ほど酷暑日は少なかった。大雨続きで大きな被害が出た夏という印象の方が強い。その夏も終わり、本格的に活動を再開する秋、今号ではその活動拠点として「ソレイユさがみ」を多くの方々に利用していただきたいという思いを込めた特集となっています。みなさまのご利用をお待ちしております。



(加賀谷・村上)